島根原子力発電所２号機安全対策に係るヒアリング

１　日　時　令和元年１２月２０日（金）午後１時３０分～午後３時

２　場　所　鳥取県緊急事態対処センター（県庁第二庁舎２階）

３　対応者　原子力安全顧問：河野顧問

中国電力（株）：黒岡担当部長、國西マネージャー、清木副長　ほか

鳥取県：水中原子力安全対策監、木本課長、松尾参事　ほか

４　概　要

〇島根原子力発電所が実施している地下水対策について、中国電力から関係資料（下記６参照）を配布の上、概要説明を行った。

５　主な確認事項

　　〇原子炉建物周辺は岩盤及び既設の止水壁等で概ね止水構造となっていること。

　　〇１・２号機エリアと３号機エリアの地下水量を把握するため、平成２５年７月ごろから計測を実施中。１・２号機エリアの地下水量は約７７０トン／日、３号機エリアが約２６０トン／日であること。

　　〇止水壁そばに揚水井戸を設置し、地下水を汲み上げ、それをバイパスする対策を行っていること。

　　〇原子炉建物をはじめとする主要建物は全て直接硬い岩盤の上に乗っており、地下水を汲み上げても地盤沈下しないこと。

　　〇大きな地震等が起こっても、原子炉建物や主要建物に影響を及ぼすような大規模な斜面崩壊、地滑り、土石流などの地形変化は起きないこと。

６　配布資料

〇島根原子力発電所の地下水対策について